



尾道市「ゼロカーボンシティ」宣言

本市は、山から海、島までの多様な自然、趣のある街並み、伝統文化、歴史的遺産などに恵まれています。これらの環境や資産は、私たちの将来の世代に引き継いでいかなければなりません。そのため「海、緑、文化に つつまれた地球と人にやさしいまち 尾道」の実現に向け、市民・事業者・行政が協働、連携した取組を進めています。

しかし近年は、全国各地で集中豪雨や台風の巨大化等による災害が頻発化・激甚化しており、私たちの生命や財産の危機、さらには自然環境や生態系への悪影響など、人類の生存基盤を根本から揺るがす「気候危機」と言うべき極めて深刻な事態となっています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。昨年公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するためには「2050年までにCO₂（二酸化炭素）の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

このような中、本市は、「ゼロカーボンシティ」を宣言し、市民や事業者等と共に「チーム尾道」で、その実現に向けた取組を推進していきます。

令和2年11月24日

尾道市長

平谷祐宏